

静岡市清水港海づり公園整備プロジェクト

～失われた水辺の憩いの場の再建～

寄附目標額 50,000千円



1. 事業概要について

平成15年に清水港江尻地区に大型浮体式海洋構造物（通称：メガフロート）の上部を公園施設に改造した「静岡市清水港海づり公園」がオープンしました。

かつては、自由に釣りを水辺で楽しむことができた清水港でしたが、平成16年の「国際航海帆船及び国際港湾施設の保安の確保等に関する法律（国際帆船・港湾保安法）」の施行に伴い、清水港にフェンスが張り巡らされ、水辺から賑わいが消えました。

法の施行前から設置されていた「静岡市清水港海づり公園」は、新たな憩いの場となり、2万人が利用する多くの人から愛される施設にまで成長しました。

しかし、平成23年3月に「東日本大震災」が発生し、被災を受けた東京電力「福島第一原子力発電所」の汚染水貯留施設として、同施設は活用されることとなり、惜しまれつつも清水港からその姿を消しました。

多くの人に愛されていた、水辺の憩いの場を復活させようと、新興津地区に新たな海づり公園の整備を進めています。

2. セールスポイントと独自性

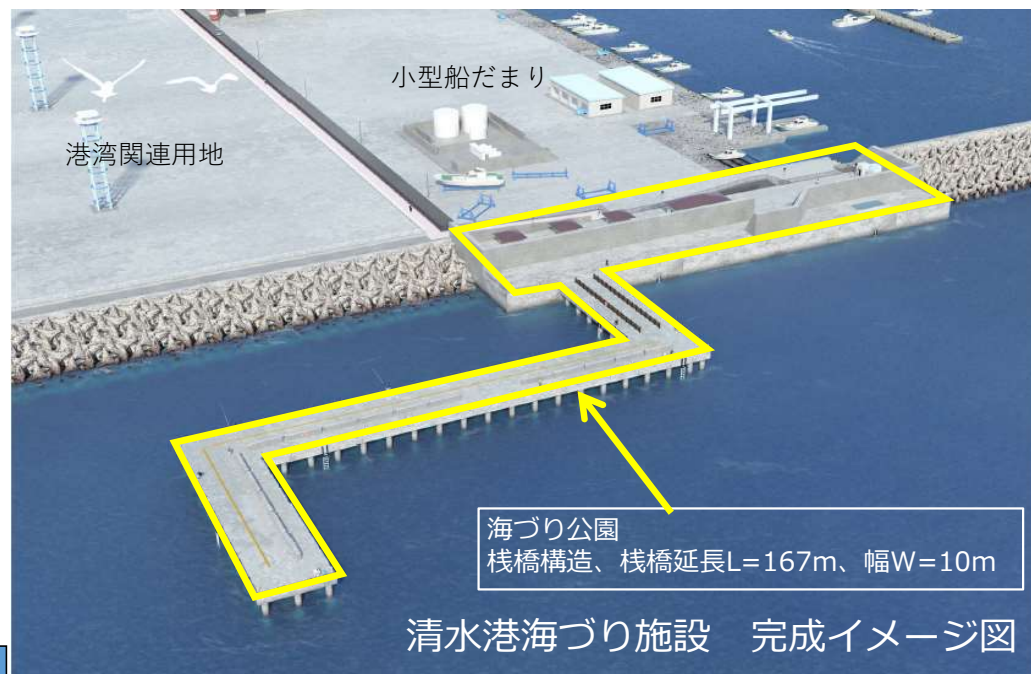
◆一から設計して、整備を進めている日本唯一の清水港海づり公園です！
全国各地に存在する海づり公園は、既設の堤防等を利用して、海づり公園を運営していますが、本施設は整備箇所や施設構造から検討調査にも着手し、設計・整備を進めている全国に例を見ない施設です。

◆世界遺産 富士山を望むことができる日本唯一の海づり公園です！
場所は、清水区新興津地区に位置し、本施設の栈橋部からは、世界遺産である富士山を望むことができ、全国各地の海づり公園にはない絶景ポイントとなっております。

3. 現状と課題

本施設が位置する清水区新興津地区では、静岡県が「人工海浜・緑地」、「交流施設」、「小型船溜まり」等の整備を進めており、新たな賑わい拠点の形成を目指しています。

本施設が、同地区内に今後整備される施設と一体となり、相乗効果を生み出し、地区内外から人が集う魅力ある場となるよう、エリア価値の向上を高める取り組みを検討していく必要があります。



4. ベネフィット

- 10万円以上
- ・感謝状の贈呈
 - ・市HPへ企業名、企業ロゴ、寄附金額、企業概要等の掲載

メッセージ

惜しまれつつも清水港から姿を消してしまった海づり公園ですが、水辺の憩いの場を取り戻すため、新たに新興津地区にて再建を目指しています。

皆様のご支援が海づり公園の完成と新興津地区のさらなる発展に繋がります。私たちと共に、清水港海づり公園を完成させましょう。ぜひ、ご支援とご協力をお願い致します。